

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア
2. 事業名	職業訓練校のソフトスキル研修能力向上事業（草の根技術協力パートナー型）
3. 事業の背景と必要性	<p>(1) 事業の背景 カンボジア内戦後、90年代から縫製業を中心に労働集約型産業が経済成長を牽引してきたが、近年の国内賃金の上昇、周辺新興国の経済成長による競争が厳しさを増しており、隣国に比べ割高な電力・物流コスト、産業人材の不足、未熟な国内産業、投資環境の整備の遅れ等が産業開発の課題である。</p> <p>(2) 事業の必要性 同国の労働職業訓練省 (MoLVT) は職業訓練校での産業人材育成を進めているが、産業界からは、専門スキル以前の労働倫理やビジネス習慣などのソフトスキル不足が指摘されており、ソフトスキルトレーニングの改善が必要となっている。</p>
4. プロジェクト目標	対象となる職業訓練校において、トレーナーが良質な教員用教材に基づき実践的なソフトスキルトレーニングを継続的に実施できる仕組みが定着する。
5. 対象地域	プノンペン市、シェムリアップ州
6. 本事業の対象となる人々 (ターゲットグループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練校 4 校（プノンペン、シェムリアップ、タケオ、バタンバン）のディレクター、マスタートレーナー（全 3-5 人）、トレーナー（10 人） ・その他の職業訓練校 20 校のディレクター、トレーナー（40 人）
7. 事業活動 (生み出すべきアウトプット及び活動)	<p><アウトプット> 1. 職業訓練校にソフトスキルトレーニングの授業の改善意識が根付く 2. 対象となる職業訓練校において改善したソフトスキルトレーニングの教員用教材が普及する 3. 良質なトレーナーの能力強化の仕組みが構築される</p> <p><活動> 1-1. 代表 4 校とその他の職業訓練校 20 校のソフトスキルトレーニングの実態調査を行う 1-2. 対象訓練校 24 校にソフトスキルトレーニング実施のための管理プロセス改善ワークショップを実施する 1-3. 代表 4 校と管理プロセスのガイドライン作成・改善を行う 1-4. DSC とドナーとの会合を開催し、ガイドラインへのフィードバックを得る 1-5. 代表 4 校を中核に全対象訓練校でのソフトスキルトレーニング普及キャンペーンを行う 1-6. 各クラスターのトレーナーの改善会議実施をサポートする 2-1. DSC ・代表 4 校と既存の教員用教材の評価、改善点を洗い出す 2-2. DSC と教員用教材（トレーニングガイドライン、授業使用教材、ワークショップ資料など）を開発する 2-3. DSC および代表 4 校と開発した教員用教材を改善する 2-4. 代表校が対象訓練校を招き教材周知を盛り込んだソフトスキルトレーニング体験会をプノンペンおよびシェムリアップにて実施する 2-5. DSC と、対象全校での教材使用状況をモニタリングする 3-1. 代表 4 校のトレーナーにファシリテーション TOT を実施する 3-2. トレーナーの要件スキルマップを作成する 3-3. ファシリテーション TOT 受講者から DSC とマスタートレーナーを選定する 3-4. マスタートレーナーを対象に TOT 講師育成研修を実施する 3-5: マスタートレーナーからトレーナーへの TOT をサポートする 3-6: 各クラスター内トレーナーの継続学習のための勉強会・コーチングサポートを行う</p>
8. 実施期間	2021年11月8日～2025年11月7日（48カ月）
9. 事業費概算額	63,677千円（消費税込 70,044千円）
10. 事業の実施体制	シェムリアップ市の事務所を拠点に、事業対象地であるプノンペン市にも駐在して事業に従事する。東京事務所にはカンボジア駐在経験者を配置し、現地活動をサポートする。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 SALASUSU
2. 活動内容	カンボジア企業・政府向け人材育成研修事業、カンボジア農村部の女性への教育